

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎 /

スト破りのための恫喝 = 「局長揭示」弾劾

完パきの11.29スト貫徹で応えよう

ストに参加したら全員クビにすぞ!

全組合員のみなさん！ 千鉄当局は、わが動労千葉の11.29ストライキに恐怖し、昨夜（11月21日夜）全職場に「区員各位へ」違法ストライキ等について『なる千葉鉄道管理局長名の揭示を張り出し、その中で、ストに参加したら解雇だ』などとデタラメ極まりない首切り恫喝で、いよいよやみくもなスト破壊攻撃にうって出てきた。フザケルな！ こんな脅しで労働者を屈服させたりたぶらかせたりできると思っているのか！ 全員さらに怒りをたぎらせ、11.29日のさめるような見せかけなストを堂々とうちぬこう。

盗っ人猛々しい『局長揭示』

「違法ストライキ等について」なる揭示は、怒りなしには一行も読めない。「……万一参加の場合、当職員及びその家族の生活基礎の確立において極めて不幸な事態を招来することは火を見るよりも明らかである！」だどー！

「……良識ある企業人、社会人として行動すべき！」（いずれも揭示より引用）だどー！盗っ人猛々しいとはこのことだ。

では聞こう。10万人の首切りに甘んじる事が、職員、家族の生活の確立なのか？ 団体交渉にまともに対応せず、団体確認も勝手に反故にしたり、処分や配転や首切りを問答無用で強行することが、良識ある社会人のやる事か？ 良識ある企業人が政府や財界と相通じ25兆円もの赤字をつくったあげく、ツケだけは国鉄労働者と国民にのみ押しつけて恥ぢない、というのか？

ここに至ってもなお、こんなことをヌケ／＼と言う当局にどうして屈服できるんだ・労働者をナメルのもいがかげんにしろ！

「スト圧殺」のみえすいた「恫喝」

更に、「公労法うんぬん……」のくだりに至っては、笑止千万！まさに当局の無知無能、ストの重圧にうちみしかれた憔悴ぶりとの底の浅い「恫喝政治」の見本である。

そもそも公労法が一条には、「……団体交渉の慣行と手続を確立することによって……企業の正常な運営を最大限確保し……」と明記されている。さらに中

八条にある「労働に関する安全、労働時間、休憩に関する事項」を始め、この向われわれが申し入れた労働条件に關する重要な申し入れをことごとく無視し拒否しているのは一体誰なのだ！ 「公労法」を言うなら、まさに違反しているのは当局の方だ。

そもそも「17条、18条により、参加しただけで解雇」というのなら、今までのとつとつにやっているはずだ。何十万という国鉄労働者が何十回となくストを叩いて来、あのマル生攻撃時ですらこんな暴論・珍論は通用しなかった。それは「公労法」は、一条を見るまでもなく、団体交渉の確立と主張の不一致を友好的に調整するということを前提にすえて成り立っているものであるからである。

スト貫徹で反動共をスッ飛ばせ

！ 確信高く11.29ストへ！

ストにおびえているのは誰か。国鉄一行革に政治生命をかけた中曽根一杉浦一松崎らこそが、11.29スト一破ストから始まる全国鉄労働者の怒りの絶頂決起によって「自分たちの座」クビがスッ飛ばすことを心の底から恐れているのだ。ストをやるからクビになるのでははない。10万人の仲間のクビを切らせないためにこそ全員が一丸となってストを向い攻撃をうちくだくのだ。

全組合員の皆さん。闘争を圧殺するためだけの凶暴かつ卑劣な恫喝を断じて許さず、団結うち固め、確信高く一破11.29ストライキへ突入しよう。

全組合員 家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！